

KEIO TECHNO-MALL 2017

▶ 併設セミナーI

ナショナル物流データセンターが切り開く世界

会場 併設セミナー会場 (ガラス棟7F G701)

時間 10:30 - 12:30



講演① 松川 弘明 (慶應義塾大学 理工学部 管理工学科 教授)

日本は Society5.0 実現に向けて動いています。そのなかで、産業間のビジネスデータを共有し、相乗効果を実現するプラットフォームを構築することが1つの重要な戦略になっていますが、それをどのように実現するかについてはいまだに明確な答えがないのが現状です。「ナショナル物流データセンター」では異なる産業間のビジネス取引における重要且つ必要最小限のデータを大量に蓄積する (Big Data) ことで、新しい需要の分析と創出、サプライチェーンのリスクマネジメント、そして国、産業、および企業の操業レベルの分析を総合的に、しかも正確に分析することを可能にします。本講演ではまず科学研究補助金研究プロジェクト (基盤研究 (A) 課題番号 25242031) の研究成果を紹介し、グローバル競争力を構築するために向かうべき方向として「ナショナル物流データセンターが切り開く世界」を紹介いたします。



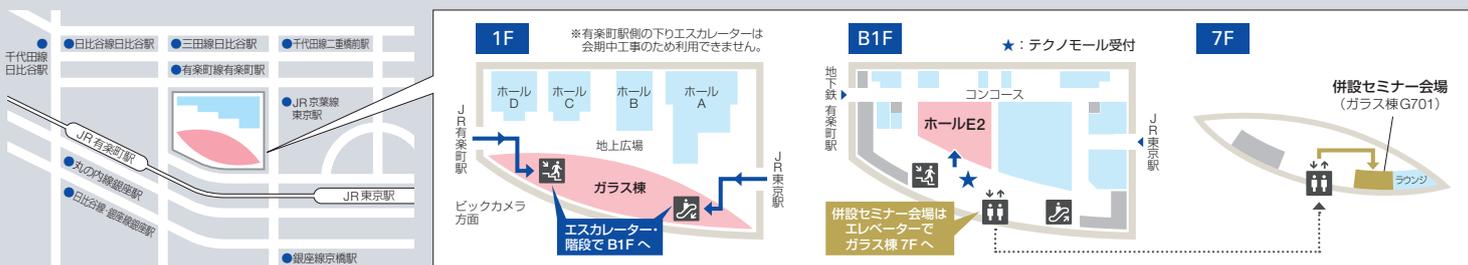
講演② 小林 史男 (一般社団法人 日本マテリアルフロー研究センター (JMFI) 専務理事)

情報共有はサプライチェーンマネジメントにおける問題解決の基本であると言われてきました。しかしながら、現状では情報をどのように共有するかがはっきりわかっておらず、総論賛成、各論反対が大勢になっています。実際、サプライチェーンリーダーが情報を独占的に吸い上げる手法もありますが、それより効率的なのは、マテリアルフローに関わるすべての企業にメリットがある情報共有の仕組みを構築することが急務であると思われます。この仕組みを導入することで、参加企業におけるサプライチェーンの見える化の実現、トラブルの早期発見、サプライチェーン途絶による生産停止の予防、リコール半減に貢献できると信じています。このような仕組みを実現すべく、産官学および協会が連携して研究会を開催し、調達を中心としたサプライチェーン見える化システムに関する研究を行うことを提唱します。その意味で「ナショナル物流データセンター構想」は一つのよい検討課題ではないでしょうか。

1947年生まれ。1970年 株式会社ダイフクに入社。1998年に取締役、2006年に代表取締役副社長に就任。2015年より顧問を務め、2017年6月に退任。同年10月より一般社団法人 日本マテリアルフロー研究センター (JMFI) 専務理事就任。

日時 — 2017年12月15日 [金] 10:00 - 18:00 会場 — 東京国際フォーラム 地下2階 (ホールE2)

内容 — 大学最大規模の100件を超える実演中心の展示、研究者による技術トークなど 入場料 — 無料 ※事前登録不要



[主催・お問い合わせ]

慶應義塾先端科学技術研究センター [KLL] (慶應義塾大学理工学部・大学院理工学研究科)

〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1 Tel: 045-566-1794 Fax: 045-566-1436 E-mail: ktm@kll.keio.ac.jp

www.kll.keio.ac.jp/ktm/

慶應テクノモール

